

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いるかくらぶ神戸		公表日		2025 年 1 月 2 9 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・学習するスペースと身体を動かすスペースが分かれている為、分散して過ごすことができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	・保育士、児童指導員等、法定通り配置できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・必要に応じて、視覚的に分かりやすい案内を掲示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃に加え、こまめな消毒と換気を徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンや個別学習、作業ができる場所や環境を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・子どもの来所がゆっくりな火曜日に皆で目標設定や振り返りをする時間を持つことが出来ています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・意見を受け止め、周知、話し合いを行い改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝礼や昼礼、会議、必要に応じて個別に意見を聞き、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・未実施	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・週1回程度、研修や訓練の機会が設けられており充実している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HPIにて支援プログラムを公表している。月毎の支援プログラムも保護者に周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者だけではなく、どの職員からも意見や集め分析した上で、子、保護者のニーズを含め作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者だけではなく、全職員で共有、検討する機会が設けられている。 ・日々のサービス提供記録から、職員それぞれの視点からの支援内容元に、子どもの最善の利益を考慮した計画の検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画がいつでも見られるところにある為、把握した状況で支援できている。 ・支援にあたる職員が計画書の内容を確認し、計画書に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・フォーマルかつインフォーマルなアセスメントを行い、5領域20項目を取り入れ確認し、計画書に沿った支援を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・こどもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を職員で話し合い、より良い支援に繋がるよう検討し設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・相談しやすい環境、雰囲気であり話し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子ども達の発達、成長に応じて内容の向上に取り組んでいる。 ・各曜日毎に同じ内容が被らないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・状況だけでなく、子ども、保護者のニーズに合わせて計画書の作成、支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼、昼礼にて確認、周知がされたうえで支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・記録や連絡帳を記入する際に話し合い、支援の統一化を図ることができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・同上	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・日常的な話し合い、定期的なケース会議の機会が設けられており、見直しもされている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	・プログラムや療育内容を検討する際、4つの基本活動が含まれるよう意識しながら支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・同じ活動内でも様々な選択肢を与えながら自分で決めることができるような内容にしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・利用者全員がセルフプランのため参加する機会がない。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・児童によって必要性があれば連携を図り体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・すぐるアプリや保護者、施設から年間計画、月間予定をいただくなどしながら情報の共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			・該当する児童が在籍していないため該当なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・外部研修などの研修の受講を行っている。 ・またその際に専門家から話を聞いたり、質問をしてアドバイスや助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・近くの児童館との交流を図っている為、事業所外の子どもとも関わり活動している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・こども部会などの参加や自立支援協議会が主催してくださる研修などには出来る限り参加している。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳を利用し、様子などを伝え合い共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・ご家族が参加し、情報共有できる機会を作れるよう努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・入所時にそれぞれ保護者が理解できるよう説明されている。 ・丁寧な説明を心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者へはモニタリング時、子どもへは個人的に意見を聞く機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・面談だけではなく、電話やLINEでも相談を受け、職員間で話し合い助言している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	・夏休みに1週間「子ども保護者ふれあいWEEK」実施し、保護者同士が交流出来る機会を設けている。	・引き続き兄弟姉妹も参加できるようなイベントなどを検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・迅速かつ丁寧な対応を心がけている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・LINEやInstagramを利用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・必要に応じて、文書にふりがなをつけるなどの対応をしている。 ・絵カードやコミュニケーションアプリ等を使用して配慮ができています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		・今後も地域の方々とのふれあいなどを大切にしながら開かれた事業所となれるよう努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・訓練をした際やマニュアルに関する研修を行った際にはInstagramにて周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・面談時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者からの聞き取りにより、状況を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・保護者に対してもInstagramにて周知されている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ケース検討会議やその他研修の際に、ヒヤリハットの検討機会を設け、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・職員研修かつ外部の研修にも参加し、適切な対応を心がけている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		